

団体を対象とした
補助金のありかたに
ついて



星 雅人 議員

質問.. 現在、大田原市には市民活動や地域活動全般に出る補助金制度がありません。他市の市民団体を公募し補助金を交付する制度では、その多くが自立を促すために徐々に補助率を下げていくといった内容になっています。大田原市でもやる気のある市民が手を挙げて使える補助制度を創設するべきではないか。

答弁.. 新たに市民活動を始めようとする場合に、期間を限定し一定程度の財政支援を行ってはどうかということですが、市民活動を対象とした補助金は、市単独の制度として自治会の総意に基づく地域づくり事業に対する大田原市地域づくり推進事業費補助金のほかに、県の補助制度、あるいは民間企業等から助成制度も存在するので、新たに補助制度をつくることは考え

ていません。市民活動の支援施策としては、平成26年度に旧大田原図書館をリニューアルした市生涯学習センターを設置しています。生涯学習の支援とボランティア等の市民活動の推進を図ることを目的とし活動場所を提供しており、これから市民活動を始めようとする団体も使用可能ですので、PRに努めていきます。

一般質問



櫻井 潤一郎 議員

芸術文化活動への
意識高揚について

質問.. 全国的に半紙サイズの絵手紙コンクールを開催しているのは、広島県の1か所だけなので、本市でもコンクールを開催し、大田原市の名物の一つにしてはどうか。

答弁.. 絵手紙講座は、勤労者総合福祉センターで平成10年度から15年間実施しました。また、平成23年度からは東地区公民館でも実施しており、来年度も実

施する予定です。これにより、絵手紙人口は確実に増加していると思われ、自主サークルも市が把握しているだけで7グループ結成して活動しています。

生涯学習は、楽しく学び、生かす、自主的な活動を通し、各自の生きがいとして豊かな人生を送ることを目標にしており、そのための発表の場は、地区の

文化祭等で行っています。今後、さらに絵手紙人口が増加し、市民活動の一つとして活性化することを大いに期待しています。そうした盛り上がりの中で、市民自らが主催となってコンクールを実施していこうとする気運が高まれば、本市としても支援し、協力していきます。